



あのとときの常呂・写真館

VOL 13

(1960年)

昭和35年5月20日 市街地国道の舗装工事着工

- ▶昭和35年5月号の「広報ところ」では、「市街地国道（鈴蘭前から野辺さんまで）の舗装工事が5月20日着工」の見出しで伝え、翌6月号では、この工事に伴い5月15日から9月30日までの期間、本通から大通まで約1キロの区間を人・車馬片側通行制限する周知をしています。
- ▶「常呂町史」では、この舗装工事のことを「開発第2期計画道路事業に基づいて、開発建設部によって、常呂市街地内国道の一部路線の変更とともに町民多年の懸案であった路線舗装と側溝工事が、鈴蘭前からホクレントラック車庫までの間1,292mにわたり施工された」と記載しています。
- ▶「常呂町史」は、「同時に、道道北見常呂線も、駅前から530mの間が土木現業所によって舗装された」と伝えています。
- ▶国道238号線や常呂町内の全舗装が完了するのは昭和43年です。



間もなく舗装工事が始まる頃の駅前交差点



*左は、工事区間の起点となった「カフェ 鈴蘭」(現：河村造花店…この頃は古い常呂橋のため、本通り―常呂神社鳥居前―網走坂という道路を通っていました)
*工事区間の終点となる「野辺さん」「ホクレントラック車庫」は、現在の大沢木工場と道路を挟んで向かい側にある常呂町農協の第9、10号倉庫付近です。



左上：駅前の舗装工事 右上：スーパー丸千代の前身「佐藤米穀店」付近の側溝工事

下：本通りの舗装工事

